

秋田市一般廃棄物処理基本計画の策定について

1 策定の背景

本市では、平成 18 年度（計画期間：H19～27 年度）に、一般廃棄物処理基本計画を策定し、ごみ処理については「市民、事業者、市が一体となって環境負荷の少ない循環型社会を構築する」、生活排水処理については「環境負荷が少ない水環境システムを構築する」ことを基本理念として、循環型社会の構築に向けて各種取組を進めてきました。

平成 24 年 7 月からは、さらなるごみ減量の推進を図るため、家庭ごみの有料化制度を実施し、平成 25 年度は当初の目標を達成したことから、新たなごみ減量目標を定める必要があります。

また、国においては、平成 25 年 5 月に第三次循環型社会形成推進基本計画が閣議決定され、新たな目標値が示されております。

2 これまでの経過

平成 19 年 3 月

秋田市一般廃棄物処理基本計画策定

ごみの減量目標

- (1) 市民一人 1 日当たりの家庭系ごみ（資源化物を除く）の排出量 556g
（平成 11 年度の 618g を 10% 以上削減）
- (2) 事業系ごみ（資源化物を除く）の排出量 41,767t
（平成 11 年度の 49,138t を 15% 以上削減）
- (3) リサイクル率の目標
（平成 11 年度の 23.6% から 38% 以上）
- (4) 最終処分量の減量目標 2,079t
（平成 11 年度の 20,798t から 90% 以上削減）

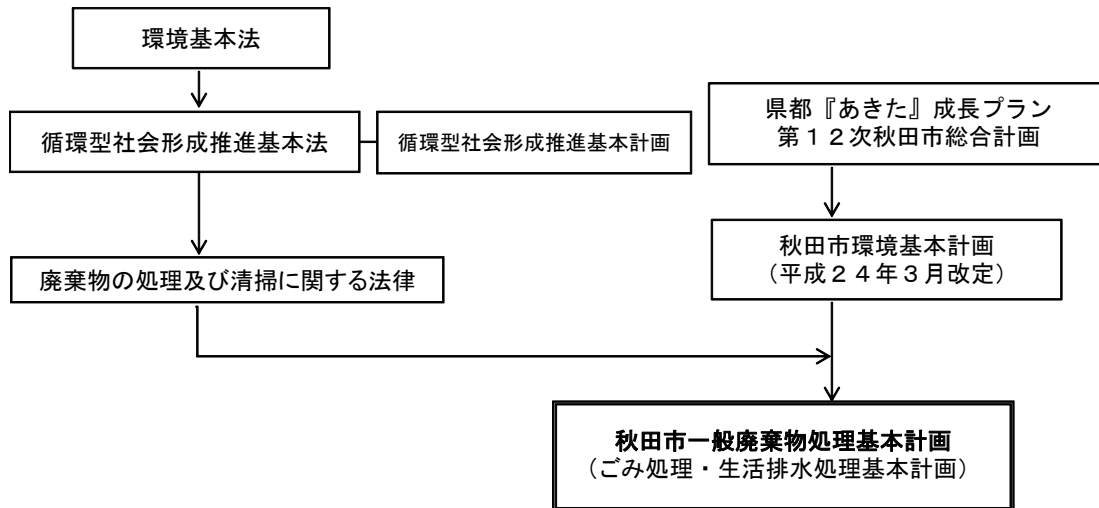
平成 23 年 3 月

秋田市一般廃棄物処理基本計画の見直し

平成 22 年度を中間目標年度としていたが、各減量項目が達成困難な状態であったため、ごみの減量目標を 2 年間延長し、リサイクル率および最終処分量については 27 年度までの目標に変更しました。

3 計画の位置付け

本計画は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、環境基本法や循環型社会形成推進基本法、秋田市環境基本計画などとの整合性を図りながら、「計画策定の趣旨」、「計画策定の基本的事項」、「ごみ処理基本計画」、「生活排水処理基本計画」の全4編で構成されます。



4 秋田市一般廃棄物処理基本計画の構成等

《構成および主要事項》

- 第1章 計画策定の趣旨
計画の概要、計画の進行管理
- 第2章 計画策定の基本的事項
本市の概況、ごみ処理の現況および課題、ごみ処理行政の動向、計画策定の基本的考え方
- 第3章 ごみ処理基本計画
新たなごみ減量目標、リサイクル率、最終処分量の設定
- 第4章 生活排水処理基本計画

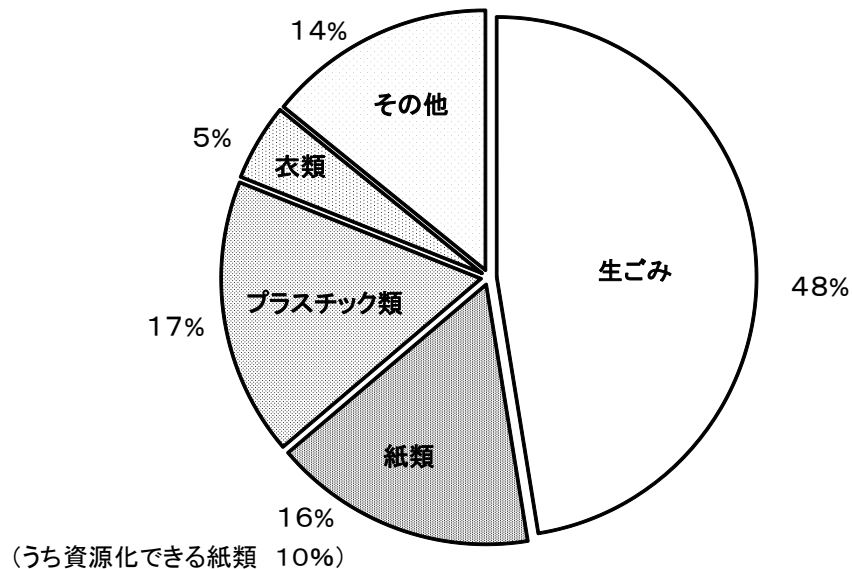
【計画策定の趣旨】

本計画は、廃棄物の排出を抑制するとともに、適正な処理を行うことにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るとい、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の目的に基づき、長期的視点に立った基本方針を明確にするものであります。

【計画の基本方針（方向性）】

- 1 環境に配慮し、安全で効率的な、廃棄物の適正処理
- 2 家庭系、事業系および資源化物を含めたごみ全体の「発生抑制」の推進
- 3 ごみの「資源化」を促進
- 4 生活排水の適正処理

【平成25年度家庭ごみ組成調査の結果】



【参考資料】

国の第三次循環型社会形成推進計画による取組指標

- 1 一人1日当たりのごみ排出量
(計画収集量、直接搬入量、集団回収量を加えた事業系を含む一般廃棄物)
平成32年度目標値を、平成12年度比約25%減(約890g)
- 2 一人1日当たりの家庭系ごみ排出量
(集団回収、資源ごみ等を除いた、家庭からの一人1日当たりごみ排出量)
平成32年度目標値を、平成12年度比約25%減(約500g)
- 3 事業系ごみ排出量
事業者の一般廃棄物の減量化や分別収集による「総量」について、平成32年度目標値を平成12年度比約35%減
- 4 循環利用率
資源の循環利用率について、平成32年度目標値を、平成12年度の約10%からおおむね7割(17%)向上
- 5 最終処分量
最終処分量について、平成32年度目標値を、平成12年度からおおむね7割削減

【国、県、市の取組指標の比較】

取組指標	国	県	秋田市 現計画	秋田市 次計画
	目標年度 H32	目標年度 H27	目標年度 H27	目標年度 H37
一人1日当たりのごみ排出量 (集団回収等、事業系ごみを含む)	H12比 25%削減 (1,185g→約890g)	870g	—	
一人1日当たり家庭系ごみ排出量 (資源化物を除く)	H12比 25%削減 (660g→約500g)	600g ※資源化物を含む	H11比 10%削減 (618g→約556g)	
事業系ごみ排出量 (事業系の総量)	H12比で35%削減 (約35%削減)	—	—	
事業系ごみ排出量 (資源化物を除く)	本市独自指標 —	—	H11比 15%削減 (49,138t→41,767t)	
循環利用率	循環利用率を7割向上 (H12比 約10%→約17%)	24.1%	リサイクル率 (H11比 23.6%→38.0%)	
最終処分量	最終処分量を7割削減 (H12比から7割削減)	33,000t	最終処分量 (H11比 20,798t→2,079t)	

5 策定スケジュール

